

防災をより多くの人に

防災おにく🍜チーム
原千智 茂津目壮太 小杉和可奈

まず、このテーマにした理由は？

最初のテーマは...

①「防災の知識を持つ人間を増やし、被災時の生存率をあげる」

②「地域イベントを増やし地域で関わる機会を作りたい！」

の2つでした。

初めはテーマがこの二つに分かれていました

しかし...

「防災の知識を持つ人を増やすためのイベントを設ける」



「地域イベントを増やす」

ことにつながっているのではないか...！？

2人のテーマは繋がっている！

チーム結成！！

なぜ「防災をより多くの人に」になったのか？

「生存率を上げる」ことを目標とすると

- 被災前に備えておくこと
- 被災後にすべきこと

→テーマが広範囲でがはっきりしていない

「生存率を上げる」



「より多くの人に知ってもらおう」

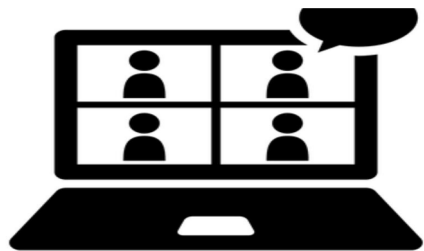
最終的な決定したテーマ

「防災をより多くの人に」

目標に向け行ったこと

① 被災者の方と対談

- ・ zoomで東北の被災者の方に質問する機会をいただいた



② 街頭インタビューと学校アンケート

- ・ 街中の方に行くつかの質問
- ・ 学校でアンケート実施



プロジェクト実行①

zoomで被災者の方と対談

福島の南相馬に住む 高橋美加子さん

・ 2011年の東日本大震災を経験

- ①南相馬では避難訓練などが嚴重ではなかった。
- ②被災後は大人より高校生の方が冷静であった。
- ③災害によって心理が変わる人も多く、喧嘩や人同士の衝突があった

美加子さんから話を聞いて...

- ・ **人数にこだわらない**→誰か1人でも興味関心を持ってくれて、
出会うことができれば良い。
- ・ **災害によって起こる心理を誰もが知っておくことは混乱を防ぐことに繋がる。**
- ・ 震災について知るために**実際の映像**を見ておくことが何よりの教材である。

私たちは人数にこだわっていた。

「何人に伝えられるか」ではなく

「誰か1人に伝えられれば良い」「誰に伝えるかが大事」

なのだと

意識が変わった

プロジェクト実行②

街頭インタビュー
と
学校へのアンケートを実施

街頭インタビュー

近くの青葉公園でインタビューを行い、9人の方にご協力いただきました。

所属	防災訓練に参加したことはありますか？	ハザードマップを確認したことがありますか？	保存できる食料は何日分ぐらいありますか？	倒れてきそうな家具は固定してありますか？	地域の人とのコミュニケーションはとっていますか？
30代男性①	ある	ない	3. 4日	倒れそうな家具は置かない	ある程度
30代男性②	ある	ある程度	2. 3日	していない	していない
50代男性	ある	ない	3. 4日	していない	していない

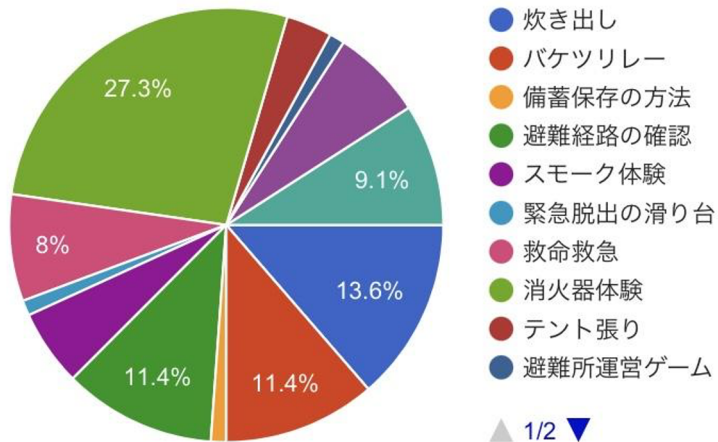
学校へのアンケートを実施

防災のアンケートをメンバーの1人が通っている学校の96人の高校生に答えてもらいました。

防災訓練に参加したことがある人	家族と防災について話合う機会がある人	食糧を備蓄している人	家具を固定している人	近所の人とコミュニケーションを取っている人	地震が起きたらどう行動するか考えている人	SNS等で防災に関する情報を流した場合見てみたいと思う人
91.7%	56.3%	67.4%	36.8%	62.1%	92.7%	74.7%

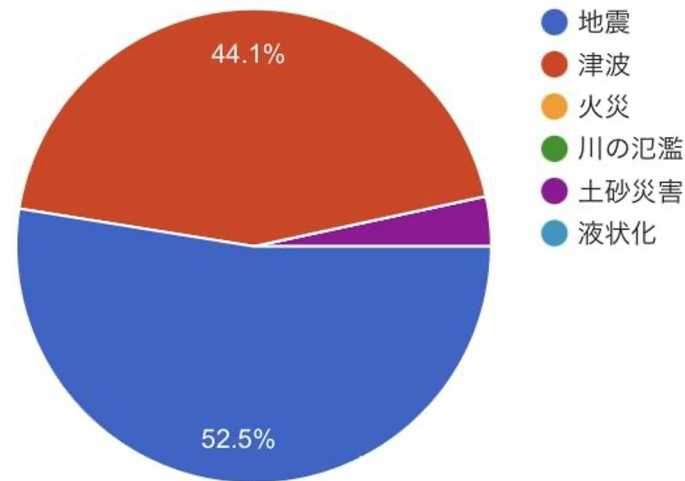
もっと詳しく見ていこう

防災訓練でどのようなことをやったのか？



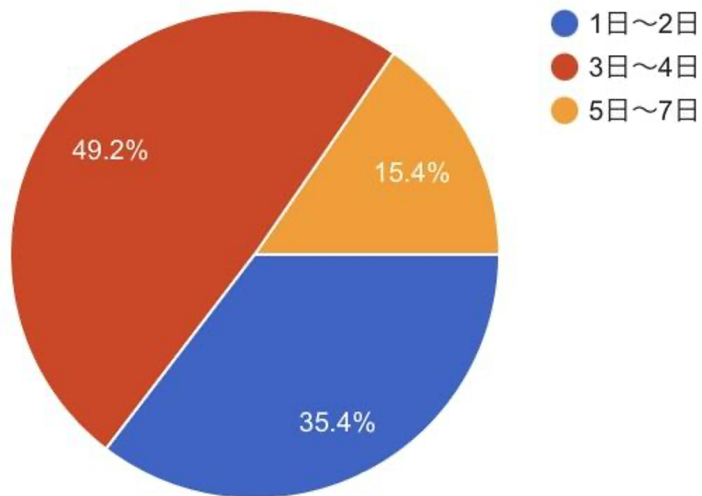
家族とどのような防災について

話し合っているのか？

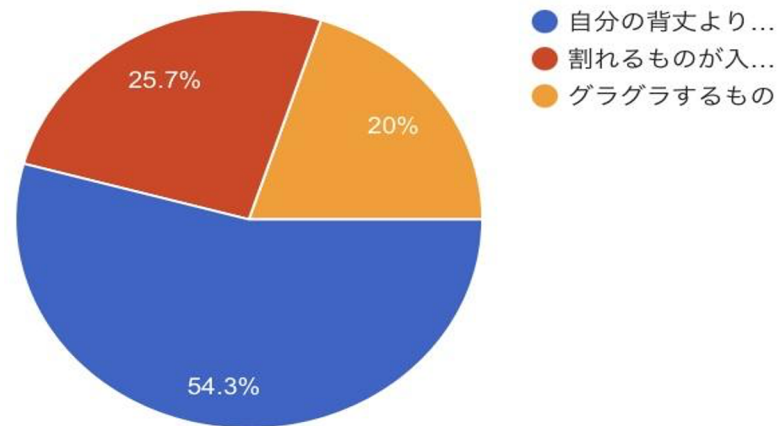


他にも

何日分の食糧を備蓄しているのか？



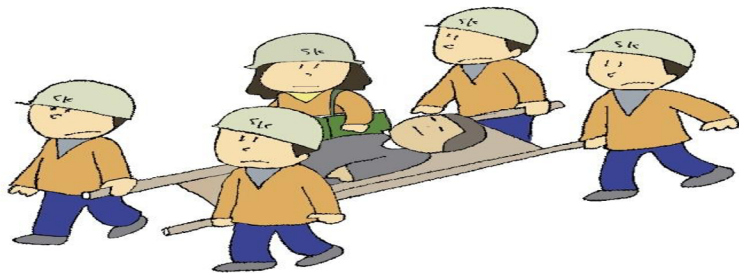
家具を固定している人はどのような家具を固定しているのか？



結果を見て思ったこと

- ・ 防災訓練の参加率が高い
- ・ 家具を固定している人が予想よりも少なかった。
- ・ 備蓄食糧を3～4日分を用意している人が多い
- ・ 実際の防災訓練で行われることのバリエーションが豊富
- ・ 家族と主に地震と津波について話し合っている人がいる

など



インタビュー・アンケートから考えたこと

- ・ 実際に被災した人は食料は7日分必要だと言っていたが静岡で聞いたところほとんどが3,4日しか備蓄していなく、不十分である。
- ・ 防災訓練に参加したり家族で話し合ったりしている人が多いことから、静岡市は**防災について比較的備えている**といえる。
- ・ 一方で地域の人と**コミュニケーションを取れている人が少ない**ため、やはり防災イベントなどを設けて機会を作る必要があるかもしれない。

この二つのプロジェクトの他に

SNSでできることとして

試しにInstagramで防災アカウントを作ってみました



作成から二週間経過して感じたこと

- ・ 防災に関係しているアカウントは既に多い
- ・ フォロワーが頻繁に来たことから、防災について知りたいと感じている人は多いのではないか。
- ・ 中高生というよりは、年代が上の人の方からフォロワーが多い

SNS＝中高生という印象だったが...

子供を持つ親世代や個人で防災の活動をしている人はSNSのチェックも欠かしていないことを知った。

→インスタで情報発信をすることは幅広い人に知識を広めるために有効かもしれない

課題解決に利用できる

プロジェクトに取り組んでの感想・今後の展望

- ・ 実際に被災者の方のお話を聞いて、1人でも防災に関心を持ってもらうことが大事なのだと知った。
- ・ 静岡は家庭での備えは充実していないが、防災訓練も参加率も高いため防災意識はあるといえる。
- ・ イベントを実施できなかったこと、SNSで何か開催することができなかったなど反省